



2026年1月30日
第138号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申12号「駅業務執行体制の再構築」に関する申し入れ 団体交渉を行う！③

乗降終了表示の省略に関して

1. 武蔵小杉駅横須賀線A線ホームにおける、本施策に伴うITVの新設・移設の考え方および画面構成について示すこと。
(回答) 効率的でより生産性の高い駅業務執行体制を構築し、当社グループの持続的な成長につなげていくため、駅業務執行体制の見直しを行うこととした。なお、必要な設備は整備していく。

組 合	会 社
停目を移設するのか。	停目は移設しない。
ITVの画面構成の考え方は？	目視確認に加えて、東京方の全てのドアが見れるようにする。 B線ホームのITVと同じ縦型のものを設置する。

2. ITVの設置にあたっては、関係乗務員区社員の立会いのもと画角調整を行い、実施期日前に調整を完了すること。
(回答) 車掌用ITVの整備については、関係箇所において必要な確認を行っている。なお、必要な設備は整備していく。

提案時、2月末までにITVの整備を終えるとしていたが、現在の進捗はどうか。	2月上旬に関係者を招集した立会いを行い、画角と見通し調整を行っていく。
ホーム立ち番のモニタは、施策実施後は撤去するのか。	撤去の計画はない。

3. 現行2徹体制でホーム業務担当者が担っている業務の持ち替えについて、駅の特情や異常時対応を踏まえて変更すること。
(回答) 作業ダイヤについては、箇所の業務実態により、箇所長の判断で定めるものである。

ホーム担当の送主・乗客担当が担っている業務はどうか。	作業ダイヤの中で示していく。
ホーム放送の設備は、新南改札にあるのか。	すでに新南改札に設備はある。
終電帯の赤縛りの乗降終了表示は誰が出すのか。	他の担務に持ち替えしていく。作業ダイヤで示していく。
乗降終了表示を出す合図器は撤去するのか。	撤去する計画はない。

4. 列停扱い時の対応者の考え方を時間帯別に示すこと。また駅内各事務室の列停監視盤の配置や機能に変更があるのか示すこと。
(回答) 列車非常停止警報装置が扱われた場合、状況に応じて対応することとなる。なお現時点において、駅事務室に設置の列車非常停止警報装置表示盤の配置や機能を変更する計画はない。

列停扱いがあった場合の対応の考え方はどうか。	まずは現地に1人行く。2人必要な場合は応援要請をする。
改札から横須賀線ホームを確認できるカメラはあるのか。	ホーム事務室にはあるが、改札事務室にあるかは手持ちがない。改札からも扱える列停が設置されている。
列停監視盤の機能は変更しないのか。	武蔵小杉には列停表示盤が設置されており、監視盤ではない。扱い場所が表示されるものであり、復位は現地対応が必要となる。

5. 施策実施以降も、武蔵小杉駅横須賀線A線ホームにおいて、社員による立哨体制を継続すること。
(回答) 引き続き、ホーム上の安全確認及びお客さまの動向に注意していく考えである。

提案時に会社から示された、朝通帯の立哨と終電帯の乗降終了表示は残すのか。	作業ダイヤの中で示していく。
朝通帯の体制について、現在検討しているものはあるか。	テンポラリースタッフやガードマンの配置を工夫し、改札の体制を補完するイメージを考えている。

6. 体制変更により出面数および業務内容が変化するため、武蔵小杉駅を主たる勤務地としている社員の運用について、本人の希望を踏まえた配置をすること。
(回答) 社員の運用については、任用の基準に則り対応を行うこととなる。なお、引き続き自己申告書等を通じて社員の希望は把握していく。

異動や駅内の担務変更が発生する場合、丁寧にコミュニケーションを行うこと。	丁寧にコミュニケーションをとっていく。
働きがいやモチベーションが低下しないよう、 本人の希望を踏まえた担務にできるよう努力すること。	100%は難しいが、面談等での希望の把握は大事である。特情含め、管理者に気持ちを伝えてもらいたい。 不安についてはコミュニケーション図って解消していく。

**営業職場の体制変更に関わる交渉が終了しました
働きやすい職場にしていくために検証をしていこう！**